

未来医療 GP ミニフォーラムにて、当プログラムの成果を発表しました

平成 29 年 1 月 28 日（土）に長崎大学医学部グローバルヘルス総合研究棟において、「第 1 回未来医療 GP ミニフォーラム「大学における総合診療医の育成～成果の共有と課題の克服～」」が開催され、私たちの「オール新潟による『次世代医療人』の養成」プログラムの成果を発表しました。

この会は、文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業のテーマ B「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」に選定された大学のうち 6 大学（長崎、三重、岡山、島根、大阪、新潟）が集まり、これまでの成果、今後の予定などを報告し、今後の総合診療医養成の取り組みをより強めていこうという趣旨のもと行われた会で、今回が初めての開催となります。

私たちのプログラムでは、毎年医学生に対して実施している「医学研究実習」、医療系学生対象の「トータルヘルスケアワークショップ&フィールドワーク」、高齢住民のソーシャルキャピタル測定を目的とした阿賀町と十日町市の「健康とくらしの調査」、その研究結果を広く公表するための「ソーシャルキャピタルを考える会」の各取り組みを成果として発表しました。参加した他の大学からは、これらの取り組みがどのように総合診療医養成に生かしていけるか、また参加者をより増やすために必要な方策は何かといった質問が挙がり、とても活発な議論が行われました。

この議論を踏まえて、地域で活躍する総合診療医をより多く、より質の高い医師を育てるために進めていく活動を考えていきたいと改めて感じました。

